

講義コード	515100201	
講義名	音楽II AB	
(副題)		
開講責任部署	幼児教育科 (短大)	
講義開講時期	後期	
基準単位数	1	
時間	0.00	
代表曜日	火曜日	
代表時限	2時限	
科目分類名	専門科目	
科目分野名	教科に関する科目	
対象学部・年次	短期大学部・1～2年	
必須/選択	必修	
担当教員		
職種	氏名	所属
専任教員	井上 修	指定なし
専任教員	教務委員会 (短大)	指定なし

授業の概要

幼稚園教育要領「表現」が求める、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにするために、歌詞の情景や季節感、色彩感など歌の世界観を味わうことで、より表現豊かな音楽活動が展開できるものとする。

本科目では曲の背景を理解したうえで弾き歌いが実施できるよう歌詞にまつわる知識を学び、表現豊かな歌唱を目指す。また、歌にまつわる行事や手遊び等を学び、レパートリーを広げていく。

多角的に弾き歌いに取り組めるように楽典やコードの知識を身につけ読譜力を養う。

授業の到達目標及びテーマ

この授業では、保育の現場での音楽活動に必要な基礎的能力の向上と応用力の習得を目標とする。

音楽Iで学んだことを踏まえ、曲の理解度を深めるため歌詞の内容について掘り下げ、自ら発信することでプレゼンテーション・スキルを身につける。また、伴奏や弾き歌いにも必要になってくるコードも学習し、表現豊かな弾き歌いが行えるよう即戦力を習得し現場で応用できる。

授業計画表

回	項目	内容
第1回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン1～12 ●ガイダンス	●音楽Iの楽典内容復習と確認 ●授業内容の説明と課題提示
第2回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン13 ●ピアノグレード表 グレード1～3	●長調 #系・b系の長調 ●音楽Iで取り上げた曲の振り返り
第3回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン14 ●ピアノグレード表 グレード1～3	●短調 自然短音階 和声短音階 旋律短音階 ●音楽Iで取り上げた曲の振り返り
第4回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン15 ●ピアノグレード表 グレード4	●近親調(属調、下屬調) ●実践演習：さんぽ/海のそこにはあおいうち/僕のミックスジュース/まっかな秋
第5回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン15 ●ピアノグレード表 グレード4	●近親調(平行調) ●実践演習：ホ・ホ・ホ/ドレミのうた/あわてんぼうのサンタクロース/手のひらを太陽に
第6回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン15 ●ピアノグレード表 グレード4	●近親調(同主調) ●実践演習：北風小僧の寒太郎/ドロップスの歌/バナナのおやこ/たのしいね
第7回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン21 ●ピアノグレード表 グレード4	●三和音のコードネーム ●実践演習：おはようクレヨン/アイスクリームのうた/ゆりかごのうた/どんな色がすき
第8回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン21 ●ピアノグレード表 グレード4	●七の和音のコードネーム ●実践演習：ゆげの朝/ありがとう・さようなら/にじ/さよなら僕たちの保育園
第9回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン21 ●合唱	●コードネームのまとめ ●曲目決定とパート分け

第10回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン21 ●合唱	●コードテスト ●パート練習
第11回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン15 ●合唱	●近親調のまとめ（復習と確認問題） ●パート合わせ
第12回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン16 ●クリスマスソング	●和音の基本形と転回形 ●クリスマスソングの英語の歌詞を調べよう
第13回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン17 ●クリスマスソング	●三和音の種類 ダイアトニックコード ●クリスマスソングを英語で歌おう
第14回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン18 ●合唱	●主要三和音 属七の和音 ●ピアノとの合わせ
第15回	●ぴあののアトリエ楽典レッスン① レッスン1～12 ●ぴあののアトリエ楽典レッスン② レッスン13～18 ●合唱	●楽典の総復習 ●合唱の仕上げ

授業時間外の学修

予習として楽典のテキストの事前読了、および取り上げる曲の譜読み、また歌詞の内容や、行事に関連した歌であればその行事について調べる。特に実践演習で当たっている課題に関しては、人に教えることができるまで深く掘り下げて準備する。各回の予習には30分程度かかると想定される。

復習として授業で扱った内容が理解できているかの確認と、自分の知らなかった曲に関しては特に念入りにメロディーと歌詞を覚えてくる。各回の復習には15分程度かかると想定される。

楽典の確認問題や曲の曲の復習を次回以降の授業で実施する。

実務経験の有無

--

ディプロマポリシーとの関連

①幼児教育者観	②知識・技能	③実践力と実務能力	④人間性と協調性
	◎	◎	

ルーブリック

評価項目	優秀 (excellent)	平均 (average)	途上 (developing)	未達 (unachieved)
演習内容の理解 (予習も含む)	自ら進んで教材に関する内容を調べ理解できており、その内容を演習に反映することができる	教材に関する内容を調べ理解できており、その内容を概ね演習に反映することができる	教材に関する予習はやれているが、その内容理解はあいまいな点がある	教材に関する予習が不足しているため、その補充を教員が助言する必要がある
課題へのアプローチ	自分の特性や問題点、課題へのスタンスを理解しており、自身の力でまとめることができる	自分の特性や問題点、課題へのスタンスを理解することができ、概ね自身の力でまとめることができる	自分の特性や問題点、課題へのスタンス等が、教員の支援を基にまとめることができる	教員の支援があっても、なかなか自身でまとめることができない
講義内容の理解度	授業内容を100%理解しており、授業内容を超えた自主的な学修が行っていると認められる	授業内容をほぼ95%程度理解しており、自主的な学修も少し行っていると認められる	授業内容の理解はほぼ75%程度であることが認められる	授業内容の理解は70%以下と判断できるため、レポートへの助言・新たな資料提供等の支援を行っている
レポート力 (レポート)	テーマについて、授業で紹介した方法、もしくはそれに類する独自の手法を使った分析が十分に行われている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析が十分に行われている	テーマについて、授業で紹介した方法で分析がなされている	テーマについての分析がなされていない

ト内容)	分になされている		
------	----------	--	--

成績評価法（表形式）

	評価基準	備考
定期試験	30%	楽典に関するテスト
小テスト等	30%	楽典や曲に関する小テスト（コードテストを含む）
成果発表	20%	実践演習や合唱の発表
授業への貢献度	10%	実践演習や合唱での役割
レポート	10%	歌にまつわるレポートや動画
その他		

課題へのフィードバック方法

定期試験や小テストの結果について	課題（レポート等）について	模擬授業、プレゼン、発言等について
掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する	掲示板等に正解と講評を掲載する 授業の中で解説、講評する

ICTを活用した双方向型授業の内容

等 チャット 用	クリッカー、アンケート、小テスト 掲示板の活
----------------	---------------------------

アクティブラーニングの割合

総授業時間数の60～100%程度のアクティブラーニングである

アクティブラーニングの内容

書く・話す・発表する等の活動におけるAL	経験値・技能を高める活動におけるAL	授業時間外におけるAL
グループワークのディスカッションやディベート（議論の場と時間） プレゼンテーション 小テストや授業内レポートの活用 調べ学習・調査の活用	実験観察・実習 PBL(課題解決型授業)	授業前レポート（予習） 授業後レポート

教科書

『新版 和音伴奏による 幼児のうた100曲』全音楽譜出版社 『簡易ピアノ伴奏による実用版 ようちえんほいくえんのうた大集合 決定版』デプロMP 『ピアノのアトリエ 楽典レッスン（1）』共同音楽出版 『ピアノのアトリエ 楽典レッスン（2）』共同音楽出版
--

SDGsとの関連

に	4. 質の高い教育をみんな
---	---------------

研究室（訪問先等）

--

中央研究棟2階 229研究室 第2体育館1階 音楽室

火、水、金が出講日です。直接、研究室もしくは音楽室を訪ねてください。

電話番号

028-667-7111 (代表)

授業用E-mail

inoue@sakushin-u.ac.jp